

聖愛

十二月号

原町聖愛保育園

二〇〇九年十二月一日発行

十二月はクリスマスの月です。イエス様のご降誕を記念して礼拝を守り、みなさんでお祝いしましょう。また、その時が来るのを待ち望み、心静かに過しましょう。

輝く星

今年度は、「空」をテーマに保育を進めてきましたので、子どもも保育者もおのずから空を見ることが多くなりました。ファミリークラスの子どもたちは、四季の星座の名前を驚くほどたくさん覚え、さらには宇宙にまで夢を馳せて様々に楽しみました。歌を作ったり描いたり、身体で表現したりしました。年少クラスの子どもも、鳥、飛行機、雲、星、太陽、天候などを通して空に関心を向けています。

秋の夕方早いころに、空を見上げたのはな組の子どもが、大きく光る星を見つけてました。するとつき組の子どもが、「あれは木星だよ」と少し得意そうにしながら教えていました。(お泊り会の時に、実際に天体望遠鏡で見た木星は、肉眼では見ることのできない筋なども、はっきりわかってとても綺麗でした。また、十一月のある朝には、つばみ組の子どもが、青空に白くぼっかりと浮かんでいる月を見つけて、少し興奮したように指差しながら、嬉しそうに保育者に知らせていました。

またある日、つき組の男の子が、「お空を大きな鳥が、ぐるぐる回って飛んでいるときは、雨が降るんだよ」と話していて、次の日、「そのようになりました。ねっ そうだったでしょ。お母さんが言ってたから。」と話していました。

毎日の空模様やそこに起る現象は、天候や気象状況を予測する上で必要なものであり、そこから知ることは生活や農耕などに役立てられてきました。夜空に輝く星も目印として、方位を確認しながら旅や航海を続けるのに必要でした。このようなことを思うと太陽をはじめ月や星、雲、そこに起る現象など「空」は昔から私たちにとても身近な存在でした。しかし最近では、洗濯物が乾く・乾かないとか、何時ごろからは傘が必要などまで、ただ情報を受動的に利用するだけです。実際に自分の目で見て知る・確認する・考えるなどをしなくてはならないために、いつしか遠い存在になってしまっていたのではないかと、「空」に親しんだ今年度は特に思いました。

救い主イエス・キリストの誕生も、夜空に輝く「星」によって知らされました。天文学に詳しい東の国(現在のイラク・イラン近辺)の博士たちは、今までとは明らかに違う光を放つ星を見つけてます。その星にまつわる言い伝えや、様々な調べから重要なことを読み取って、長い間待っていた救い主が生まれたしるしに違いないと確信します。そしてその星は、博士たちを導くように動き、その星に従って進んだ博士たちは、長旅の末、無事にイエス様にご会うことが出来ました。黄金・乳香・没薬の捧げ物を贈って、心から礼拝をささげたのです。クリスマスはこのことを記念して、世界中で祝われ、礼拝がささげられています。

『このとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。』 聖書 マタイによる福音書 2:1-2 園長 遠藤美保子

11月の保育目標

主題 0、1、2歳児「うれしい」 3、4、5歳児「感謝」

暗唱聖句「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」ヨハネによる福音書 3章16節

	保育目標	活動	保育者の配慮
0歳児 てんし	・保育者、友だちのやっていることに興味・関心を示す。	・かくれんぼ ・ボールころがし ・ままごと ・リズム遊び(太鼓や鈴を鳴らす)	・周りの友だちが気になり、近くに寄る姿を大切に、保育者も仲介となって遊びを共有できるようにする。 ・クリスマスを迎える期間、保育者が喜び、心待ちにすることで、子どもにも伝わるようにし、一緒にクリスマスを喜ぶ。
1歳児 つばみ	・保育者や友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・クリスマスが来るのを知らせ、楽しみに待つ。	・かごめかごめ ・トンネルくぐり ・丸める、のぼす、粘土遊び(クリスマスプレゼント作り) ・クリスマスの絵本や歌	・友だちを意識するようになり、一緒に遊ぼうとするが、思いが伝わらないことがある。保育者が仲介に入ったり、「まげて」「いいよ」のやり取りができるように配慮し、遊びが進められるようにする。 ・クリスマスが楽しみに待てるよう、環境を整え、期待して待てるようにする。
2歳児 はな	・友だちと一緒に活動を共有し、自分の思いを相手に伝える。	・表現遊び ・山探検(色んな物を見つけてみよう) ・すごろくゲーム ・つまむ、丸める、入れるの遊び	・目的を持って活動に取り組み、みんなで活動を共有する。 ・一人一人の興味を把握し、個別の対応をしながら集団へ促す。 ・クリスマスを知らせ、イエス様の誕生をみんなで喜びあえるよう、保育者が環境を整える。
ファミリークラス 3歳児 4歳児 5歳児	・イエス様の誕生日を楽しみに待つ。	《室内》 ・プレゼント作り ※1 キャンドルスタンド(ぼかし絵) オブジェ タペストリー ・マフラー作り ・クリスマスの演物の準備 絵や小物作り	・プレゼント作りは、色の混ざりあいをじっくり楽しみ、作品に仕上がる過程を喜んで取り組めるよう、一つ一つ心を込め、丁寧に行えるようにする。 ※1 ・クリスマスの出来事を知り、特別な日であることを意識してその日を待ち望めるよう、本やクリスマスの装飾などで工夫し、伝わるようにする。
	・イエス様の誕生を喜び、みんなで祝う。	《戸外》 ・鬼ごっこ ※2 ・縄跳び ・マラソン 《つき組》 ・聖誕劇 ※3	・プレゼント作りや演物の準備を通し、クリスマスの出来事を知り、喜んで待つことができるよう、その準備一つ一つを丁寧に進められるようにする。 ※1 ・目標を持って取り組めるよう励ましたり、コツを知らせ、時には友だちと競い合い、どうやったら上手くなるか、また、出来ることが喜びとなり、もっとやりたいと思う意欲につながるようにする。 ※2
	・演じることで、イエス様の降誕の出来事を知り、共に喜び、分かち合う。		・一つのことじじっくりと取り組み、心を込め、丁寧に行なえるようコツなどを知らせていく。また、一人一人の気付きや思いをなるべく表現できるよう、共に考え、一緒に進める。 ※1 ・クリスマスの出来事を知り、イエス様の降誕を共に喜びながら、神さまの存在を大切に感じられるようにする。 ※3

< 12月の予定 >

日	園の予定	職員の予定
1 (火)	長寿荘訪問	クリスマス勉強会
2 (水)	子育てサークル(レインボーG)	職員会議
3 (木)		園内研修
4 (金)	避難訓練 ポップコーン	構造化会議
7 (月)	久米本先生来園	
8 (火)	合同礼拝	聖書研究 めぐみの会
9 (水)	久米本先生来園 子育てサークル(ブーさんG)	企画会議
10 (木)		主任保育士部会
11 (金)	クリスマス祝会総合練習①	
15 (火)	クリスマス祝会総合練習②	感染症予防対策研修会 聖書研究 タラントの会
16 (水)		マネージャー会議
17 (木)	クリスマス祝会総合練習③	
19 (土)	クリスマス祝会	
21 (月)	お弁当の日 お母さん勉強会	
22 (火)	餅つき	保護者会レクリエーション 豆腐作り
23 (水)	天皇誕生日(休園)	
24 (木)	小人さんの音楽会	給食会議 イブ賛美礼拝
25 (金)	しゃりん梅訪問(つき) 久米本先生来園	
28 (月)	保育終了→午睡布団、着替えの持ち帰り	

◎1月4日(月) 保育開始(普通保育)

長寿荘訪問 1日(火) つき組(代表3名)

木の実を使ったキャンドル立てを届けながら、入居者のみなさんにクリスマスの喜びを伝えてきます。(インフルエンザの感染予防のため変更になっています)



餅つき 22日(火) 全園児

杵と臼を使い、昔ながらの作り方で行ないます。出来上がった餅は、雑煮の他に、きな粉やあんこなど、クラスごとに味付けをして食べます。

体をたくさん動かして遊ぼう!

寒いと、どうしても外に出て遊ぶ機会が少なくなりがちです。外に出て、体をたくさん動かして遊びましょう。

冷たい空気で、皮膚が刺激を受けることで、温度感覚が鋭くなり、毛穴の収縮運動が盛んになり、血流もよくなります。また、冷たい空気を体内に取り入れることによって、体の中の自律神経を整えるのに大切、と小児科医も説明しています。

保育園では、体を動かして遊ぶことを大事に考え、意識して外遊びを取り入れています。外に出ると、「寒い!」と言って上着を着た子も、しばらくすると上着を脱いで遊んでいます。

このように、外で遊ぶことは、体にとっても良い影響を与えてくれます。ぜひ取り入れてみて下さい。

- ボール遊び…サッカーやキャッチボールなど、ボールがあれば、簡単に楽しむことができます。
- 自然を使っの遊び…どんぐりや落ち葉など、野山を歩きながら探して楽しみましょう。
- 縄跳び…何回跳べるかお子さんと競い合っても楽しいです。

この他にも、ジョギングやマラソン、鬼ごっこなど、何もなくても体を動かして楽しめることがたくさんあります。

《クリスマス祝会》 テーマ 「星の知らせ」

イエス様がお生まれになった嬉しい出来事を、みなさんと共に喜び合います。今年11月29日よりアドヴェントに入り、少しずつ近づくと、イエス様の御降誕を心待ちにします。



《2009年度 クリスマス祝会》

- ・日時 12月19日(土) 午前9:00~12:00
- ・場所 原町聖愛保育園ホール
- ・対象 全園児、保護者、職員
- ・内容 礼拝 午前9:00~ 祝会 午前10:00~

◇保護者の演物の練習は、11日(金)、17日(木)

時間 午後7:00~

場所 原町聖愛保育園ホール及び保育室

詳しいことにつきましては、後日お知らせいたします。

(貸し出し絵本より) 貸し出し日 毎週金曜日

クリスマスにちなんだ絵本を準備しました。是非お子さんと一緒にご覧になって、家庭でもイエス様の御降誕を心待ちにしましょう。

アドヴェントとは?

『アドヴェント』、『待降節(たいこうせつ)』は、クリスマス前の4週間の期間をさします。11月30日に最も近い日曜日で、今年11月29日から始まり、4回の日曜日を経て、12月25日の『クリスマス』に至る期間をいいます。語源は「来るべき」という意味のラテン語。キリストが来られるという約束と、平和への期待を表しています。

4本のろうそくを立てた『アドヴェント・クラウンツ』は、日曜日の礼拝ごとに1本ずつ灯火を増やしていき、4本のろうそくにあかりが灯ると『クリスマス』です。

園でも、各クラスにリース、クラウンツを飾って礼拝を守り、その時を楽しみに待ちます。



サンタクロースって?

イエス様の御降誕を記念して祝うのがクリスマスですが、他に子どもたちのクリスマスの楽しみは、サンタクロースではないでしょうか。名前の由来については、4世紀頃の東ローマ帝国小アジアの司教、キリスト教の教父聖ニコラウスの伝説が起源のようです。

「ある日ニコラウスは、貧しさのあまり、三人の娘を嫁がせることの出来ない家の存在を知った。ニコラウスは真夜中にその家を訪れ、屋根の上にある煙突から金貨を投げ入れる。このとき暖炉には靴下が下げられていたため、金貨は靴下の中に入っていたという。この金貨のおかげで娘の身売りを避けられた。」

(参照:フリー百科事典 ウィキペディアより一部引用)

この聖ニコラウスを、オランダ語では「シンタクロース」と言い、その後、17世紀アメリカに植民したオランダ人が「サンタクロース」と伝え、語源になったと言われています。



せいあいまつりのご協力ありがとうございました

各クラスの役員の皆様をはじめ、保護者の方々のご協力により、盛大に行なうことができました。

収支決算につきましては、詳細をまとめ次第、お知らせいたします。

送迎の際の駐車について(お願い)

寒くなると、送迎の際にエンジンをかけたままにしがちですが、車上荒らしの防止(以前被害に遭われた方がいらっしゃいます)や、自然環境の保護の為に、エンジンの停止及び、鍵の施錠をお願いいたします。